

解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

第219回簿記能力検定試験 問題用紙

2 級 商業簿記

(令和7年7月13日施行)

問題用紙（計算用紙含）は回収します。持ち帰り厳禁です。

注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験の制限時間は1時間30分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の会場コードは、試験担当者が指示した6桁の数字を頭の0(ゼロ)を含めてすべて書いてください。
受験番号1番の場合、右寄せで1とだけ書いてください。
受験番号90001番の場合、90001と書いてください。
受験番号を記入していない場合や、氏名を記入した場合には、採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、筆記用具の不具合などで必要のある場合は、手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、黒シャープペン、消しゴム、定規、計算用具だけです。
- ・黒鉛筆または黒シャープペン以外で書いてあるものは不正解とします。
- ・ボールペンを使用してはいけません。
- ・下敷きは、机の不良などで特に許されたもの以外は使用してはいけません。
- ・計算用具(そろばん・計算機能のみの電卓など)を使用してもかまいません。
- ・解答用紙は、持ち帰りできませんので白紙の場合でも必ず提出してください。
解答用紙を持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
- ・**簿記上本来赤で記入する箇所も黒で記入すること。**
- ・**解答は、必ず解答用紙に記入してください。**
- ・**金額には3位ごとのカンマ「,」を記入すること。**
ただし、位取りのけい線のある解答用紙にカンマ、上付きカンマ（'）で解答しているものは不正解とします。
また、カンマ「,」（数字の下側に左向き）と小数点「.」は明確に区別できるようにすること。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省
日 本 簿 記 学 会

第219回簿記能力検定試験問題

2級 商業簿記

解答は解答用紙に

第1問 次の取引を仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切なものを選ぶこと。(28点)

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	受 取 手 形
売 掛 金	ク レジ ッ ト 売 掛 金	電 子 記 録 債 権	他 店 商 品 券
立 替 金	未 収 金	未 収 利 息	備 品
リ ー ス 資 産	建 設 仮 勘 定	電 子 記 録 債 務	未 払 金
前 受 利 息	修 繕 引 当 金	リ ー ス 負 債	資 本 金
利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	売 上	受 取 手 数 料
受 取 利 息	支 払 手 数 料	修 繕 費	修 繕 引 当 金 繰 入
支 払 リ ー ス 料	支 払 利 息	電 子 記 録 債 権 売 却 損	損 益

1. 鹿児島株式会社は、貸付金の利息を3月末と9月末に受け取っており、前期末に3か月分の利息¥15,000を見越し計上していた。本日、期首(1月1日)となり、再振替仕訳を行った。
2. 宮崎株式会社は、クレジットカードによって商品¥500,000を売り上げた。なお、クレジットカード会社に対する販売手数料(販売代金の3%)を販売時に認識することとした。
3. 熊本株式会社は、電子記録債権¥100,000の取引銀行への譲渡記録を行い、取引銀行から利息相当額等¥5,000を差し引かれた残額が、当座預金口座へ振り込まれた。
4. 大分株式会社は、12月31日、リース料¥200,000を普通預金口座から支払った。このリース契約(オペレーティング・リース)は、当期首(1月1日)において、コピー機をリース物件とし、年間リース料¥200,000(毎年12月31日払い)、期間2年の条件で締結したものである。
5. 福岡株式会社は、備品の修繕と改良を行い、代金¥800,000は小切手を振り出して支払った。代金のうち¥300,000は改良のための支出であり、残額は修繕のための支出である。なお、この修繕のために修繕引当金¥400,000が設定されている。
6. 佐賀株式会社は、商品を販売したときに受け取っていた地域商工会共通商品券¥50,000について、地域商工会に代金を請求し、普通預金口座に振り込まれた。
7. 長崎株式会社は、決算において当期純利益¥825,000を算定した。

第2問 徳島株式会社の次の期首・期末の貸借対照表と元帳の記録により、期首資本金、期末売掛金、期末繰越利益剰余金、当期純利益の金額を求めなさい。()の中に入る語句と金額は各自で考えること。
(12点)

期首貸借対照表				期末貸借対照表			
現金	376,000	買掛金	536,000	現金	369,000	買掛金	666,000
売掛金	428,000	借入金	200,000	売掛金	()	借入金	300,000
商品(繰越商品)	()	資本金	()	商品(繰越商品)	535,000	資本金	()
建物	800,000	繰越利益剰余金	()	建物	1,000,000	繰越利益剰余金	()
	<u>2,046,000</u>		<u>2,046,000</u>		<u>()</u>		<u>()</u>
仕 入				売 上			
期中総額	6,550,000	仕入戻し	258,000	売上戻り	263,000	期中総額	9,538,000
繰越商品	()	繰越商品	()	損益	()		()
	<u>()</u>	損益	()		<u>()</u>		<u>()</u>
			()				
損 益				資 本 金			
仕入	()	売上	()	次期繰越	()	前期繰越	()
その他費用	5,824,000	その他収益	3,133,000		()	増資	213,000
	<u>()</u>		<u>()</u>		<u>()</u>		<u>()</u>
繰越利益剰余金							
次期繰越	()	前期繰越	423,000				
	<u>()</u>	損益	()				
			<u>()</u>				

第3問 次のQ商品に関する資料にもとづき、移動平均法によって商品有高帳に記入しなさい。また、6月分のQ商品の純売上高、売上原価、売上総利益(粗利益)を求めなさい。(18点)

- 6月1日 Q商品の前月繰越高は¥558,000 (=900個×@¥620)であった。
- 4日 青森株式会社からQ商品1,500個を@¥660で仕入れ、代金は掛けとした。
- 6日 4日に青森株式会社から仕入れたQ商品のうち150個を品質不良のため返品し、代金を買掛金から差し引いた。
- 9日 広島株式会社にQ商品1,450個を@¥1,200で販売し、代金は掛けとした。
- 10日 9日に広島株式会社に販売したQ商品のうち200個は品違いのため返品を受け、代金を売掛金から差し引いた。
- 18日 秋田株式会社からQ商品1,000個を@¥650で仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 24日 岡山株式会社にQ商品1,500個を@¥1,300で販売し、代金は掛けとした。

第4問 次の3つの仕訳について、仕訳の対象となった取引あるいは決算手続きの内容として、ア.～エ.の中から最も適切なものを1つ選び、その記号を記入しなさい。(12点)

1.	借方科目	金額	貸方科目	金額
	賞与引当金	200,000	普通預金	300,000
	賞与	100,000		

- ア. 決算にあたり、次期に支払う賞与の当期負担額¥200,000を計上した。
 イ. 決算にあたり、次期に支払う賞与の当期負担額¥300,000を計上した。
 ウ. 賞与¥300,000（うち¥200,000は前期負担分）を普通預金口座から支払った。
 エ. 賞与¥300,000（うち¥100,000は前期負担分）を普通預金口座から支払った。

2.	借方科目	金額	貸方科目	金額
	支店	500,000	損益	500,000

- ア. 支店は当期純利益¥500,000を計上し、本店に報告した。
 イ. 本店は支店に商品¥500,000を送付した。
 ウ. 本支店合併財務諸表を作成するにあたって、本店勘定の残高¥500,000と支店勘定の残高¥500,000を相殺した。
 エ. 支店の当期純利益¥500,000を本店が記録した。

3.	借方科目	金額	貸方科目	金額
	未払法人税等	200,000	納税準備預金	200,000

- ア. 法人税等の中間申告を行い、¥200,000を納税準備預金から納付した。
 イ. 確定申告を行い、前期法人税等確定額のうち未払分¥200,000を、納税準備預金から納付した。
 ウ. 決算において、法人税、住民税および事業税の金額が¥200,000と計算された。
 エ. 固定資産税¥200,000を納税準備預金から納付した。

第5問 次の付記事項と決算整理事項によって、精算表を作成しなさい。なお、会計期間は、1月1日から12月31日までの1年間である。(30点)

付記事項

仮受金¥50,000は、得意先からの売掛金の回収であることが判明した。

決算整理事項

- 現金の実際有高は¥375,000であり、帳簿残高との不一致の原因を調べたところ、水道光熱費¥86,000を支払った際に、¥74,000と誤記入していたことが判明したが、残額は原因が判明しなかった。
- 期末商品棚卸高 ¥260,000
- 電子記録債権および売掛金の期末残高について2%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
- 備品について、定額法により減価償却を行う。
残存価額 ゼロ 耐用年数 8年
- 売買目的で保有している有価証券を¥380,000に評価替えする。
- 消耗品の未使用高 ¥19,000
- 家賃の前払高 ¥45,000
- 利息の未払高 借入金は当期の10月1日に期間1年、利率年4%で借り入れたもので、利息は返済時に元本とともに支払う約束である。利息は月割計算による。
- 手数料の前受高 ¥25,000
- 未払法人税等
当期の課税所得を計算したところ、¥500,000となったので、未払分を計上する。なお、税率は30%であり、中間申告時に¥75,000をすでに納付している。

※氏名は記入しないこと。

【禁無断転載】

会場コード
受験番号

第219回簿記能力検定試験

2級 商業簿記 解答用紙

得点
点

制限時間
【1時間30分】

第1問採点

第1問 (28点)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

第2問採点

第2問 (12点)

期首資本金	期末売掛金	期末繰越利益剰余金	当期純利益
¥	¥	¥	¥

第3問採点

第3問 (18点)

商 品 有 高 帳

Q 商 品

令 和 7 年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
6	1	前月繰越	900	620	558,000				900	620	558,000

注 摘要欄には、取引先を記入すること。ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」でよい。

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益 (粗利益)
¥	¥	¥

第4問採点

第4問 (12点)

1	2	3

※氏名は記入しないこと。

全4ページ

①

【禁無断転載】

会場コード			
受験番号			

第219回簿記能力検定試験

2級 商業簿記 解答

得点
点

制限時間
【1時間30分】

第1問 (28点)

@ 4点 × 7 = 28点

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	受取利息	15,000	未収利息	15,000
2	クレジット売掛金 支払手数料	485,000 15,000	売 上	500,000
3	当座預金 電子記録債権売却損	95,000 5,000	電子記録債権	100,000
4	支払リース料	200,000	普通預金	200,000
5	備修繕引当金 修繕費	300,000 400,000 100,000	当座預金	800,000
6	普通預金	50,000	他店商品券	50,000
7	損 益	825,000	繰越利益剰余金	825,000

第2問 (12点)

@ 3点 × 4 = 12点

期首資本金	期末売掛金	期末繰越利益剰余金	当期純利益
¥ 887,000	¥ 970,000	¥ 808,000	¥ 385,000

第3問 (18点)

●印@2点×9=18点

商 品 有 高 帳

Q 商 品

令 和 7 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1 前月繰越	900	620	558,000				900	620	558,000
	4 青 森	1,500	660	990,000				2,400	645	1,548,000●
	6 青 森				150	660	99,000	2,250	644	1,449,000●
	9 広 島				1,450	644	933,800	800	644	515,200
	10 広 島	200	644	128,800				1,000	644	644,000
	18 秋 田●	1,000	650	650,000				2,000	647	1,294,000
	24 岡 山				1,500	647	970,500	500	647	323,500
	30 次月繰越				500	647	323,500			
		3,600		2,326,800	3,600		2,326,800			

注 摘要欄には、取引先を記入すること。ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」でよい。

別解 6日、10日の取引は下のように記入してもよい。

Q 商 品

令 和 7 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1 前月繰越	900	620	558,000				900	620	558,000
	4 青 森	1,500	660	990,000				2,400	645	1,548,000●
	6 青 森●	150	660	99,000				2,250	644	1,449,000●
	9 広 島				1,450	644	933,800	800	644	515,200
	10 広 島				200	644	128,800	1,000	644	644,000
	18 秋 田●	1,000	650	650,000				2,000	647	1,294,000
	24 岡 山				1,500	647	970,500	500	647	323,500
	30 次月繰越				500	647	323,500			
		3,250		2,099,000	3,250		2,099,000			

純 売 上 高	売 上 原 価	売 上 総 利 益 (粗 利 益)
¥ ● 3,450,000	¥ ● 1,775,500	¥ 1,674,500

第4問 (12点)

@ 4点×3 = 12点

1	2	3
ウ	エ	イ

第5問 (30点)

●印@2点×15=30点

精 算 表

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	397,000			● 22,000			375,000	
当座預金	330,000						330,000	
電子記録債権	230,000						230,000	
売掛金	370,000			● 50,000			320,000	
貸倒引当金		7,000						11,000
売買目的有価証券	352,000		● 28,000				380,000	
繰越商品	275,000		260,000	275,000			260,000	
仮払法人税等	75,000			75,000				
備品	800,000						800,000	
備品減価償却累計額		300,000		● 100,000				400,000
買掛金		248,000						248,000
仮受金		50,000	50,000	●				
借入金		500,000						500,000
資本金		900,000						900,000
資本準備金		150,000						150,000
利益準備金		50,000						50,000
繰越利益剰余金		36,000						36,000
売上		3,873,000				3,873,000		
受取手数料		263,000	25,000			238,000		
仕入	2,277,000		● 275,000	260,000	2,292,000			
給料	617,000				617,000			
支払家賃	230,000			● 45,000	185,000			
水道光熱費	327,000		● 12,000		339,000			
消耗品費	82,000			19,000	63,000			
支払利息	15,000		5,000		20,000			
	6,377,000	6,377,000						
● 雑 (損)			10,000		10,000			
貸倒引当金繰入			● 4,000		4,000			
減価償却費			100,000		100,000			
有価証券運用損益				28,000		28,000		
(消耗品)			● 19,000				19,000	
(前払)家賃			45,000				45,000	
● (未払)利息				5,000				5,000
(前受)手数料				25,000				25,000
法人税等			150,000		150,000			
● (未払)法人税等				75,000				75,000
● 当期純(利益)					359,000			359,000
			983,000	983,000	● 4,139,000	4,139,000	2,759,000	2,759,000